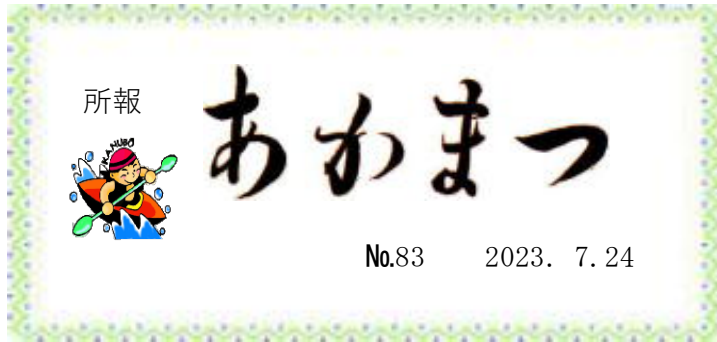




新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙1503番地166

Tel 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行され、当施設における平時の活動制限を撤廃しました。

換気や手洗い等の感染症対策については、引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。



誰一人取り残さないウェルビーイングの実現

所長 伊藤 彰

以前、「親ガチャ」という言葉が流行りました。家庭の経済格差が教育格差を生み、教育格差が学力格差を生み、学力格差が社会での地位獲得格差を生むという図式から、「生まれ」によって人生がほぼ決まってしまうという意味合いです。

昨年末には、「低所得世帯の小学生のうち3人に1人がこの1年、習い事や旅行などの体験活動を何もしていない」という報道がありました。学習と比べると成果が見えにくい体験活動の機会が真っ先に削られ、その傾向は強まることが懸念されています。子どもたちにとって、学校外で多様な経験を積むことが、想像以上に難しく、贅沢なものになっています。

文部科学省の「青少年の体験活動に関する調査研究」によれば、体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）の機会に恵まれていると、家庭の経済状況等に左右されることなく、その後の成長に良い影響が見られることが分かっています。健やかな成長を確かなものにするために必要となる「体験」に格差が生じている今こそ、その機会を意図的・計画的に提供することが大切です。

国の第4期教育振興基本計画の基本方針には、ウェルビーイングの実現が謳われています。多様な個々人が幸せや生きがいを感じるだけでなく、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものになるという包括的な概念です。家庭・地域・学校の大人が協働し、多様な「体験」を土台に全ての子どもの成長を支え、よりよい社会を創ることが求められています。

「家庭が主体となった野外活動や動植物の観察」、「地域が主体となった遊びを通じた世代間や異年齢の交流」、「学校が主体となった宿泊体験や自然体験」等…。コロナ禍を乗り越え、更なる成長の機会や場を設けようと思案しているのではないのでしょうか。ぜひ、私たちにお手伝いさせてください。体験活動の宝庫である「新潟県少年自然の家」で、新たな一步を踏み出そうではありませんか。皆様の御利用を心よりお待ちしております。



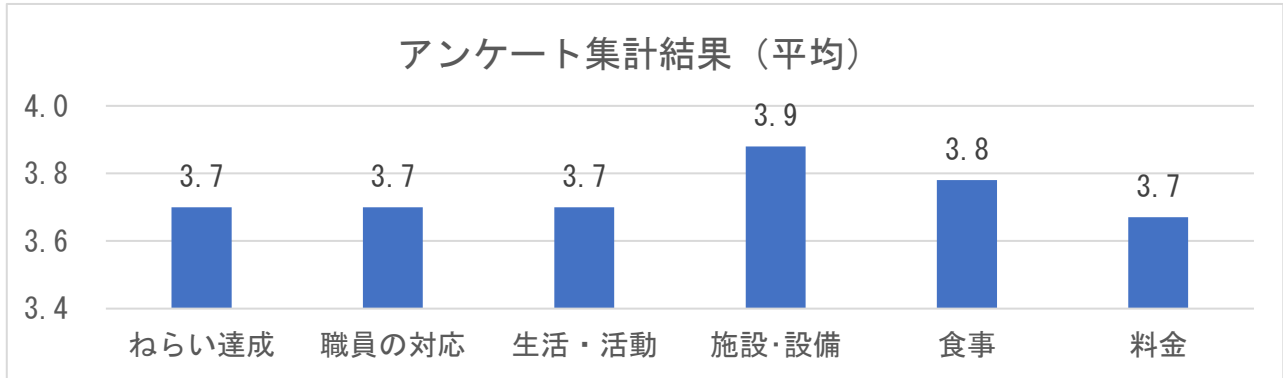
令和4年度 自然の家の通信簿

＜利用団体アンケートの結果から＞

令和4年度は、県内外より376団体、24,053人の皆さんから当施設をご利用いただきました。ご利用いただいた際にアンケートの記入をお願いしています。施設の今後の運営に役立てていきたいと思ひます。アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

※各設問では、次の1～4段階の中から選択し回答いただきました。

《4－とても満足 3－満足 2－やや不満 1－不満》



1 ねらいの達成度 → 3.7（3年度 3.9）

設問：「今回、自然の家を利用して、利用のねらいや目的は達成されましたか。」

＜主な回答＞

- 新入生に3年後の進路について、いつもとは異なる大変よい環境で考えさせられた点がよかった。
- 仲間と楽しく活動でき、交流を深めることができた。また、協力して助け合い活動する様子が見られた。
- 仲間と協力しながら、「なかよく、たのしく、げんきよく」活動させていただいたので、大変充実した時間となった。

昨年度も、小学校を中心に様々な団体から利用していただきました。今後も各利用団体のねらいが十分に達成できるよう、計画段階から効果的なプログラムを提案する等、精一杯支援していきます。

2 職員の対応 → 3.7（3年度 3.9）

設問：「少年自然の家職員の対応や指導はいかがでしたか。」

＜主な回答＞

- 元気いっぱい話をしてくださり、生徒が笑顔で活動を始められた。
- 困ったときなどにも相談に乗っていただけた。また、様々な活動の中で子どもたちへ丁寧にご指導をしていただいた。
- 事前の打合せから丁寧に柔軟に対応していただき、とっても助かった。
- 臨機応変にこちらの要望に応じていただき、大変助かった。
- 急なお願いにも優しく対応してくださり、子どもたちにも温かく接していただけて嬉しかった。
- 急な変更にも快く対応してくださり、説明もとても丁寧でした。
- ▲事務室に職員がいないことが多く、また、職員がいても担当ではないと言われて困った。

カヌー活動を行う期間につきましては所員も手薄になってしまい、大変ご迷惑をおかけしております。スムーズに対応できるよう、職員の配置について検討・改善してまいります。

3 生活・活動 → 3.7（3年度 3.9）

設問：「少年自然の家での生活、活動は快適でしたか。」

＜主な回答＞

- 感染対策が行き届いており、安心して過ごせた。
- 雨天時でも安心して活動ができました。仲間との協力、活動する選択肢がたくさんありました。
- 野外炊さん、オリエンテーリング、グラウンド・ゴルフ、キャンドルファイア、星空観測、カヌー体験のどれも普段できない活動を行うことができ、貴重な体験と思い出になった。



- 屋外、屋内とも様々なプログラムがあり、選択の幅があってよかった。
- 普段の学校生活と違い、自然に触れ合うことでのびのび活動できた。
- ▲大人（引率職員）の入浴時間をもう少し長くしていただけるとありがたい。
- ▲利用する団体が多く、もう少し1日の団体数が少ない方が、お風呂、オリエンテーション等が時間通りにいくように感じた。

多くの団体に利用してもらうために、活動場所や時間を調整しています。当施設における平時の活動制限を撤廃しましたので、今年度は、より柔軟に気持ちよく利用していただけたと思います。

4 施設・設備 → 3. 9 （3年度 3. 9）

設問：「屋内外の施設・設備はいかがでしたか。」

<主な回答>

- 木をふんだんに使って、明るく温かい印象です。素晴らしい。
- 赤松林、きれいで整備されていてとてもよかった。
- 様々な道具なども整頓されていて、利用しやすかった。
- オリエンテーリングで遊歩道の整備、まつかさの家（トイレ）等、安心して活動できた。
- 冷房等の設備も整っており、熱中症等になる児童もなく、活動することができた。
- ▲以前の施設と比べ、宿泊棟のトイレの数が少なく感じた。
- ▲野外ワイドゲームのテープが分かりにくく迷って泣いた子どもがいた。

皆様がより快適に利用いただけるよう、施設の点検整備や適切な維持管理に努めてまいります。



5 食 事 → 3. 8 （3年度 3. 7）

設問：「食事の内容はいかがでしたか。」

<主な回答>

- 栄養のバランスがしっかりと考えられた、とてもおいしいメニューだった。
- ボリュームもあり、子どもたちも「おいしかった。」と言っていました。
- アレルギーの対応も親身に相談に乗っていただき、助かった。
- メニューが多く、疲労感の中の子どもたちが好みや体調に合わせて選んで食すことができた。
- 品数も多く、活動後空腹の子どもたちが喜んで食事をいただきました。
- ▲事前にご飯の「少な目」の数を報告して準備をお願いできると、残食がなくなるかと思います。
- ▲食事の時間に限りがあり、子どもたちが食べるのが遅いので、大変だった。
- ▲小学生には量が多く、味も少し濃いように感じた。

アレルギーに関しては、除去食は対応できますが、代替食は対応できません。ご了承ください。

利用者全員がスムーズに食堂を利用できるよう、しょうゆ・ソース等をテーブルごとに置くなどの工夫をしていきたいと考えています。

6 料 金 → 3. 7 （3年度 3. 6）

☆ 満足度 → 93. 9 （3年度 97. 0）

設問：「利用にあたって、100点満点とした場合、満足度は何点でしょうか。」

<主な回答>

- イベント利用にぴったり。また利用したい。
- 事前指導で動画も大変参考になりました。ありがとうございました。
- 事前にたくさん連絡を取らせていただきましたが、いつも丁寧に親切に対応していただき、感謝しています。

今年度も、YouTube「カヌボーチャンネル」や、Twitter「カヌボー@新潟県少年自然の家」でたくさんの動画や情報を配信しています。

利用者の皆様が生き生きと活動している様子や、四季折々の草花なども紹介しています。

ぜひ一度ご覧いただき、よろしければ「チャンネル登録」「高評価」をお願いします。

令和5年度 少年自然の家 職員			
所 長	伊 藤 彰		
次 長	諸本 広志		
指導課	村上 敏樹	夏井 徳治	増子 恭幸
	天 木 享	駒 形 誠	星野 貴之
	草間 淑之		
庶務課	伊藤 和子	小川 佳文	渡邊 幸男

令和5(2023)年度 新潟県少年自然の家 主催事業一覧(予定)



主催事業名		令和5年度	ねらい・内容	募集人数・期間	会場
利用団体 引率指導者研修会	1	4月20日(木)	プログラムの作成や団体間のプログラム調整のみを、午後開催で行います。希望する方は、食堂での昼食も行えます。 ※5月23日～10月10日利用団体引率者は原則参加	5月23日～6月25日に 利用する団体	新潟県 少年自然の家
	2	5月16日(火)		6月26日～7月23日に 利用する団体	
	3	5月18日(木)		7月24日～9月10日に 利用する団体	
	4	6月22日(木)		9月11日～10月13日に 利用する団体	
プログラム体験会	1	6月4日(日)	自然の家でのプログラム活動の1つである野外炊さんとカヌー活動を体験する。	高校生以上 *体験活動に興味のある方 30名(先着順)	新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫
チャレンジわんぱく	1	7月22日(土) 23日(日)	自然体験や共同生活体験を通して、積極的に活動する態度を育みます。 参加者同士で協働することの大切さを学びます。 1: カヌー、野外活動 等 2: どんと焼き、スキー 等	県内 小学4～6年生 (全2回参加…35名 各回参加…35名)	新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫
	2	1月27日(土) 28日(日)			新潟県 少年自然の家 胎内スキー場
自然・ふれあい! 家族のつどい	1	12月2日(土) 3日(日)	季節に応じた新潟県少年自然の家のプログラムを家族で楽しみ、絆を深めます。	家族25組 (70名程度)	新潟県 少年自然の家
	2	2月10日(土) 11日(日)			
家族で カヌーに親しもう	1	8月5日(土) 午前の部・午後の部	カヌー活動を通じ、家族で水上スポーツの楽しさを体感します。 ※小学生の体験は4年生以上です。	各部(4回)とも 小学4年生以上の 家族参加 30名程度	新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫
	2	8月6日(日) 午前の部・午後の部			
一緒にお泊まり キャンプinたいない	1	11月3日(金) 4日(土)	自然体験活動や異年齢集団による生活体験活動を通して、体験活動の楽しさや集団生活のルールを学びます。	園児(年中・年長)30名と その保護者合計70名程度 ※園児の兄弟(小学校2年生まで)の参加も可能	新潟県 少年自然の家
	2	3月16日(土) 17日(日)			
はつらつ体験塾	ミニ	5月14日(日)	不登校・不登校傾向にある児童生徒に、自然体験活動や宿泊体験を通して集団への適応性や人間関係作りの資質を高められるよう、自立を支援します。 《キャンプについて》 下記の3つのキャンプがあります。 ①ミニキャンプ 日帰りの日程で気軽に参加できます。大人(保護者や担任の先生、適応指導教室の先生等)と一緒に参加することができます。 ②FC(フレンドリーキャンプ) 参加者が人間関係を結んだり、深めたりできるようなプログラム内容で活動します。 ③CC(チャレンジキャンプ) 参加者が自主性・積極性を高められるようなプログラム内容で活動します。	『ミニキャンプ』 県内小中学生 20名程度+大人	新潟県 少年自然の家
	FC	6月17日(土) 18日(日)			
	CC	7月15日(土) 16日(日)			
	ミニ 妙高	8月26日(土)			国立妙高 青少年自然の家
	ミニ 田上	9月23日(土)			田上町 YOU遊ランド
	ミニ	11月10日(金)			新潟県 少年自然の家
	FC	12月16日(土) 17日(日)			
	CC	1月20日(土) 21日(日)			
ハートフル ドリームキャンプ		9月30日(土) 10月1日(日)	多忙のため、親子で活動する機会の少ない、ひとり親家庭に自然体験活動や創作活動を楽しむ機会を提供します。	25家族50名程度	新潟県 少年自然の家
大人のアウトドア 体験教室		HPにて開催日掲載	少年自然の家にある自然の中で活動することで、普段味わえない体験ができます。	成人(高校生を含む) 35名	新潟県 少年自然の家
国際交流キャンプ		10月7日(土) 8日(日)	新潟県内の留学生と中高生が、異なる文化、習慣、言葉をもつ留学生と出会い、触れ合い、様々な体験をすることで、互いに理解を深めます。	県内の留学生及び中高生 40名程度	新潟県 少年自然の家
所長杯 グラウンド・ゴルフ大会		11月28日(火) 2月28日(水)	グラウンド・ゴルフを通じて、参加者の健康増進を図り、親睦を深めます。	60名程度	新潟県 少年自然の家
中学生 リーダーシップ研修		2月24日(土) 25日(日)	新たな生徒会役員として、活動する中学生の基礎作りをしています。また、さまざまな地域の学校と交流する中で、新しい発見をすることができます。	県内中学校生徒会役員 20名	新潟県 少年自然の家
自然の家職員が 出前指導します!		6～9月を除く随時 (地域は下越・新潟地区)			

予定の変更がある場合、ホームページや広報を通して連絡いたします。これからも、当所のご利用をよろしくお願いいたします。